

所属	文学部	身分	准教授
氏名	兼武 道子		
NAME	KANETAKE, MICHIKO		

1. 研究課題

(和文) 18世紀イギリスの文体論・修辞学研究

(英文) Eighteenth-century British Rhetoric and Stylistics

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 200字程度)

(和文)

・18世紀イギリスで活躍し、著作 Lectures on Rhetoric and Belles Lettres によって後代に大きな影響を与えた。その研究を進めるための手がかりとして、2本の論文を著す。① フォットン『バロイド』と『ケダ』による同作品の読解について。

② ルソー『言語起源論』と『ケダ』による同作品の読解について。この2本の論文にのみならず、修辞学の観点から『ケダ』の音声中心主義批判を再検討し、発表に向けて現在準備中。

・詩作品を対象として修辞学批評の実践。

(英文)

As a part of my larger research project on Hugh Blair's rhetorical theory, I focused my studies on two aspects of Derrida's work. Firstly, I examined Derrida's readings of Plato's Phaedrus. Secondly, I discussed Derrida's possible (mis)understandings of Rousseau's terminology in Essay on the Origin of Languages.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

【学術論文】(著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)

【学会発表】(発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)

【図書】(著者名、出版社名、書名、刊行年)

上島建吉ほかと共著 『T.S.エリオットの読書会』(仮題)
春風社、2012年5月末出版予定

【その他】(知的財産権、ニュースリリース等)